

社会連携室だより

「社会連携室だより」は、松山大学の教職員・学生が主体となり実施した地域社会連携・貢献活動を、皆さま方に広く知っていただくことを目的に、様々なトピックを取り上げ、不定期に発行していきます。

◆ 学生による社会連携活動 ◆

2015年度よりスタートした本制度で、多くの学生が社会連携活動を行っています。今回は実際の活動の様子や学生の体験談をご紹介します！

★ 2016年度の活動事例 ★

村の駅支援事業マルシェ
菊間町駅市支援事業
横河原にぎわいづくりWS
元気わくわく川まつり
砥部町村の駅五本松 七夕祭り
みそぎ夏祭りの手伝い
奥松瀬川収穫祭のお手伝い
えひめYOSAKOI祭り
ぶるうプロジェクト
砥部町五本松 花畑通りアート計画
恋人の聖地としての二之丸史跡庭園活性化
菊間町 駅市・児童館 支援事業
うちこ「わ」まつり
久万高原結い音楽祭
されだにきてみん祭
御槇ふるさと市
長田「食の文化祭」イベント手伝い
子供遍路塾
笑顔つなぐ障害者の文化交流支援事業
砥部町村の駅五本松 どんと焼き

今年度は24事業、延べ184名が参加しています(2017年1月31日現在)。

興味のある方は、社会連携事務室にてお知らせメールの登録を！大学へ活動依頼があれば、みなさんへメールでお知らせします♪♪♪

「うちこ『わ』まつり」のお手伝い

午前中は五十崎文化祭の名物『御祓の杵つき餅』の準備と販売に携わりました。周遊バスに乗りながらスタンプラリーを楽しんでいらっしゃる方や、住民の方が出店するバザーで賑わいました。共に作業するなかで、地域の人たちが祭りを盛り上げようとする姿にいつの間にか同じ気持ちになり、会場を盛り上げることができました。

お祭りを開催するにあたり、地域の方だけではなく、地域おこし協力隊の方をはじめとする関係者の方がいて初めてお祭りが成り立ち、地域が活きるのだと思いました。またそういった地域が生き続けるために、私たち若者が町おこしを率先していきたいです。

経済学部経済学科 3年次生 川村 沙耶香
人文学部英語英米文学科 3年次生 太田 瑞希
人文学部社会学科 3年次生 土本 桃子



「御槇ふるさと市」の準備、実施手伝い、片づけ

私たちは、主にポン豆の無料配布を担当させていただきました。会場設営に始まり、ポン豆の袋詰めや配布などを行いました。無料配布ということで、来られたほとんどの方と交流を持つことができ、地域の方々の温かさを肌で感じることができました。自分がポン豆を配布することを通じてだけではなく、他の方の出されたお店やイベント終了後の懇親会を通じて、本当に多くの方々と交流することができました。その中で、地域の方々の力になれたという喜びも生まれました。こうした社会連携活動に参加するのは今回が初めてでしたが、これからも様々な活動に参加し、より多くの地域に触れて、その力になりたいと思いました。貴重な体験ができたことに感謝し、また、これからも多くの社会連携活動をしていきたいです。

経営学部経営学科 1年次生 青野 郁弥



◆ 生涯学習事業 ◆

松山大学公開講座(出張型) 開催!

今年度も県内外 計5地区へ出張し、本学の専任講師による公開講座を開催しました。今回は、受講生の声と講座の開講状況をお知らせいたします。

開催地	日程	講師(テーマ)
高知	9月24日(土)	酒井郁也(がんの予防と治療) 小松洋(いま、環境のことを考えるということ)
四国中央	9月25日(日)	中村真(ゲノム科学の進歩がもたらす21世紀型医療) 倉澤生雄(本当に、憲法改正するの、それとしないの?)
今治	10月1日(土)	天倉吉章(健康生活に関わる植物たちー薬草、漢方薬から自然毒までー) 松本直樹(アベノミクスと日本経済を読み解く)
大洲	11月26日(土)	岩村樹憲(健康食品・サプリメントを考えるーニセ科学に惑わされないためにー) 中谷陽明(ジェロントロジー(老年学)入門)
宇和島	11月27日(日)	山田富秋(薬害エイズ事件の現実) 渡辺幹典(成年後見制度の現状と課題)

【高知】

- 身近な題材が多くわかりやすく参考になった。自分の行動意識にも変化が期待できそうで、楽しく聞くことができた。
- 環境を社会的にみるのはおもしろいですね。
- がんへの知識が増え勉強になりました。

【四国中央】

- 年を老いてもこのような機会が地元であることは、とても便利で勉強する機会に感謝したい。
- ゲノム科学の進歩について、聞いて楽しかった。
- こうした機会に出逢うことが少なく楽しみです。

【今治】

- 学生時代の予習をして来ました。思い出しながら、新聞の事柄にリンクしてとても興味深く思いました。
- 興味深々の薬草のお話で、あっという間の時間でした。
- まさに現在(季節)のテーマに即して、大変興味深かった。



【大洲】100名超のご来場をいただきました



【宇和島】熱心な質疑応答がありました

新居浜生涯学習大学「松山大学公開講座」

本講座は新居浜市生涯学習センターが運営する新居浜生涯学習大学の講座の一つとして、「松山大学公開講座」を開講しており、平成5年より継続しています。本学の教員が輪番制で全8回講座を行っており、本学の知的人的資源を活かした講座になっています。

最終講義は例年、本学で講義を行っており、2016年度は12月9日に樋又キャンパスにおいて実施されました。今年度は「幅広い分野を、さまざまな視点から」と題し、各学部からバランスよく講義しました。最終講義は河瀬雅美薬学部教授による「医薬品がつくられるまで」をH2D教室にて実施し、修了式では松本直樹社会連携室運営委員より修了証が授与され、受講生から謝辞が述べられました。その後「ル・ルパ」で食事をとり、難波弘行薬学部教授による薬学部棟見学ミニツアーを実施。普段立ち入ることのできない薬学部棟の中で、模擬薬局や最新技術を備えた人体模型を、受講生は興味津々の様子で見学しました。最後に河内俊樹経営学部准教授の「流通コース特殊講義 インダストリアル・マーケティング論」の授業を大学生と一緒に受講しました。受講生は松山大学のキャンパスライフを楽しみながら樋又キャンパスで新たな本学の魅力を実感して頂けました。



経営企画部社会連携事務室

松山大学樋又キャンパス1階

電話番号: 089-926-8246 (内線:617)

F A X : 089-926-8244

メール アドレス: mu-renkei@matsuyama-u.jp

お願い

「社会連携室だより」では、松山大学の教職員、学生が主体となり実施した地域連携・貢献活動を取り上げ、不定期に発行していく予定です。社会連携事務室が管轄して行ったもの以外にも、ゼミやサークル単位等で実施した活動がございましたら、社会連携事務室まで情報提供をお願いいたします。